

# 諏訪地方の経済概況速報

平成25年12月

(平成25年11月末調査)

平成25年12月25日  
長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫  
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【 10月】	諏訪公共職業安定所管内	0.91 倍	0.11 ポイント	
手形交換高【 11月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	4,922 枚	△1,801 枚	
	金 額	5,744 百万円	△2,214 百万円	
	うち不渡り	枚 数	0 枚	△2 枚
	発生状況	金 額	0 千円	△600 千円
電力使用量【 11月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	51,223 MWh	3.0 %	
	高圧電力計	90,037 MWh	1.9 %	
	合 計	141,260 MWh	2.3 %	
車庫証明取扱件数【 11月】(諏訪地方合計)		991 件	16.2 %	
新設住宅着工戸数【H25年4月～10月】(諏訪管内)		835 戸	35.3 %	

□本文は、当金庫の取引先約 130 社へのヒアリング調査による取りまとめ。

## 地域の概況

諏訪地方は、新設住宅着工件数が 4 月からほぼ毎月、有効求人倍率は 5 ヶ月連続、自動車車庫証明件数は 2 ヶ月連続で前年同月を上回るなど、徐々に改善傾向を示している。消費増税前の駆け込み込み需要などで受注を伸ばした建設業は工事量が増え、人手不足に直面している。製造業も企業間格差はあるものの、総体的に受注量が増加傾向の企業が多い。一方で、材料費や燃料費のコスト高が収益を圧迫する状況が続いている。多くの分野で消費増税後の反動減への懸念も広がっている。諏訪地方各地で相次ぐ太陽光発電は、設置工事が終わり、稼動する施設が出始めた。

### ●製造業 「総体的に受注増加傾向だが、企業間に格差」

自動車部品関連の下請企業は総体的に堅調で、受注量が昨年や一昨年の水準を上回ったり、残業や休日出勤で対応し 3 月までフル稼働の見込みの企業がある。海外工場が好調な企業も多くなっている。金属部品加工は、企業によって業況は増減さまざまで、ピーク時に近い受注がある企業の半面、コストダウン要請で受注が増加しても収益面の伸びが鈍ったり、生産の海外シフトの影響を受ける企業もある。専用機などの一般機械は、海外メーカーとの競合は激しいものの、取引先の設備投資需要などで徐々に増加傾向に転じる企業が増えている。半導体関連も受注増の動きが出ている。電気機械は分野によって濃淡があり、駆け込み需要を取り込んでフル稼働の企業の半面、受注減少で先行き不透明感を持つ企業もある。精密機械関連も取引先によって、受注状況に格差が見られる状況となっている。

### ●商業 「寒暖の変動が各方面に影響」

諏訪地方の 11 月の天候は、季節はずれの高温だった 10 月から一転し、中旬から急激に冷え込み、寒暖の変動が大きかった。ホームセンターなどではこたつやストーブなど暖房関連器具の売れ

行きが伸び、衣料は秋物の期間が短く冬物に移行した。生鮮青果関連は単価が上がり、売上を維持した小売店が多いが、店舗間競争は激化している。白斑問題以降、化粧品の販売がやや低調となった店舗もある。灯油は円安による原油輸入価格の上昇などで、前年同時期を上回る水準で高止まりした。自動車販売は、諏訪地方の11月の車庫証明件数(軽自動車除く)が991件と、前年同月比で138件増加(16.2%)した。前月比では32件減少(△3.1%)したが、軽自動車を中心に足元の販売は好調を維持している。

### ●観光・サービス業 「高原は端境期となり、来客数は減少傾向」

上諏訪温泉の宿泊人数は、総体的に前年同期比ほぼ横這となったが、昨年は11月に諏訪圏工業メッセや諏訪湖マラソンが行なわれたことを勘案すると、実質増加と見られる。ただ、施設間に格差があり、団体客減少傾向の中で、少人数グループ確保などへの取り組みが見られる。年末年始の予約状況は例年並みだが、忘新年会は宴会のみで宿泊を伴わない予約が増加傾向となっている。蓼科・白樺湖など高原の観光地は端境期となり、客足は減少している。スキーシーズンに向けて、ネット広告や旅行業者へ誘客を投げかける動きが盛んになっている。一部ホテルでは、病院建設などに携わる工事関係者の連泊があり、しばらく堅調に推移する見込みとなっている。

### ●建設業 「工事量増加の一方で、人手不足、資材高騰、反動減への懸念」

市町村の11月の発注工事は建築工事4件、土木工事・下水道工事51件、その他工事26件の合計81件579百万円で、前年同月比で件数は2件減少、契約金額は113百万円(△16.3%)の減少となった。また、県関係の11月の公共工事(地元業者受注分)は15件、164百万円だった。平成25年4月～11月の累計契約は118件4,049百万円で、前年同期累計比で件数は8件減少したが、契約金額は1,388百万円(52.2%)増加した。

民間工事は、諏訪地方の10月の新設住宅着工戸数が140戸と前年同月比45戸の増加(47.4%)となった。長野県内の10月の新設住宅着工戸数は1,070戸で、前年同月比31.6%増加した。リフォームが好調で冬場も繁忙状態が見込まれるが、人手不足と増税後の反動減を懸念する声が多い。

### ●雇用 「新規求人が平成20年4月以来の1,500人台」

諏訪地域の10月の有効求人倍率は、前年同月を0.11ポイント上回り、前月を0.02ポイント下回る0.91倍となった。全国の0.98倍は下回るものの、リーマン・ショック前の水準まで回復した長野県と同水準となり、前年同期比で5ヶ月連続上回った。製造業を中心に、幅広い業種で求人が増加傾向となっている。新規求人(全数)は1,542人で前年同月比114人増加(8.0%)した。1,500人を超えたのはリーマン・ショック前の平成20年4月以来で、求人要因は「業務量増大」が前月より増加している。新規求職者数は1,050人で、前年同月比88人減少(△7.7%)となり、減少傾向が続いている。業種別の前年同月比の新規求人数は、飲食店・宿泊業で126.3%、製造業で62.9%増加したが、建設業で21.6%減少した。1件10人以上の人員整理は1件13人、事業主都合による雇用保険資格喪失者は98人で、前年同月比13人、前月より39人増加した。

## 業種別動向

### 1. 電気機械

プリント基板 プリンター	セラミックスの受注が増加し、好調な企業が見られる。 海外生産へ移行する流れだが、一部では在庫調整の影響が薄れ、やや増加傾向に転じた。
コンタクター・ リレー	駆け込み需要などで受注が増加傾向となっている。フル稼働で納期対応に追われる企業もある。

### 2. 輸送用機械

自動車	北米需要が堅調で、国内向け需要も増加しており、自動車部品の生産は持ち直しが続いている。主力取引先からの受注が安定し、高水準の生産や売上を続ける企業も増えている。
ピストンリング・ シリンダーライナー 船外機	受注が増加傾向となり、海外工場がフル稼働で生産が追いつかず、仕事が国内に回ったり、自動車用以外の需要もある。 北米向けレジャー用 4 サイクルエンジンが回復傾向となっている。今後増産が見込まれる部門を立ち上げる動きもある。

### 3. 一般機械

工作機械・専用機	設備投資需要に伴い、受注が増加傾向となる企業が増えている。ただ、取引先企業が先行きを楽観視せず、小ロット受注となっている企業もある。
搬送用機械	受注は堅調に推移しており、今後も同様な見込みだが、消費増税による反動に対する懸念の声がある。
金型	総体的に横這い。自動車やバルブ関連には動きがある。
ダイカスト	増加傾向だが、企業によって区々で、先行きの見通しも不透明感がある。

### 4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの 10 月の生産台数は 630 万台で、前月比 12.7%の増加、前年同月比では 34.6%の減少となった。10 月の出荷台数は国内出荷 59 万台、海外出荷 584 万台の合計 643 万台で、前月比 9.5%増加、前年同月比は 31.2%減少となっている。スマホの普及でコンパクト市場は減速感が強まり、一眼レフ市場も伸び悩む。大型設備のある企業が手がけて、業界全体に受注が行き渡らないという声もある。
レンズ	レンズ加工業界全体は受注が伸び悩み。ただ、高難度加工は、量は多くないが、引き合いは多い。研究機関や医療機器向けレンズの受注は堅調に推移している。

## 5. 繊維

ニット

高級品の受注が増えている。原材料や燃料の値上がりで価格転嫁できず収益が悪化し、海外との競争も激化している。

## 6. 食品

寒天

固定客からの注文は横這い。増税で地方問屋への影響が懸念される。

味噌

原材料価格高騰や仕入れ価格上昇で、収益性が低下する状況が続いている。

## 7. 製材

諏訪地方の10月の木造住宅着工戸数は127戸で、前年同月比46戸増加した。外材は昨年の2倍近い値段となり、価格が安定している国産材の需要が出ている。

## 8. 建設

公共工事

11月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所12件、林道治山工事関係1件、農地整備課1件、その他土木・建築工事1件の合計15件で、契約金額は164百万円だった。平成25年4月～11月の累計では118件、4,049百万円となり、前年同期累計比では件数で8件減少、契約金額では1,388百万円の増(52.2%)となっている。前年度補正予算分効果は一服感があるが、人手や機材不足、工事の小口化などで応札できない企業も出ている。今後は、受注の伸びが鈍化する懸念もある。

市町村の11月の発注工事は、下諏訪町の温泉活用健康増進施設建設工事など建築工事4件192百万円、土木工事及び下水道工事51件240百万円、その他工事26件147百万円の合計81件579百万円で、前年同月比で件数は2件、契約金額は113百万円減少となった。

民間工事

諏訪地方の10月の新設住宅着工戸数は140戸で、前年同月比で45戸の増加(47.4%)となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は40戸増加の114戸、「貸家」は4戸増加の21戸、「分譲」は同数の4戸となった。平成25年4月～10月の累計は835戸で、前年同期累計比218戸、35.3%の増加となった。建設工事の前段階の取り壊しなどの廃棄物処理も増加している。現場従事者が足りず、建材の値上がりもあって、納期への不安も出ている。

また、長野県内の10月の新設住宅着工戸数は1,070戸で、前年同月比31.6%の増加となっている。前年同月比の利用関係別では、「持家」が14ヶ月連続の増加、「貸家」は5ヶ月連続の増加、「分譲」は2ヶ月ぶりの増加となった。

## 9. 商業

衣料	急激な気温低下で、秋物のシャツやジャンパーなどが伸びず、冬物へ移行した。
食料品	野菜や果物の価格が高く、牛肉は安価で推移した。パンや牛乳などのデイリー食品も好調だが、消費者が必要な分しか購入しない傾向もある。
家電製品	薄型テレビは底入れ感があり、年明けの新生活用と増税の駆け込み需要が期待される。
自動車	県内の11月の新車新規登録台数は登録車が3ヶ月連続、軽自動車は5ヶ月連続で増加している。全体では前年同月比 1,463 台増加(16.5%)の10,310 台で、3ヶ月連続増加となった。
ホームセンター	急激な冷え込みがあり、ストーブ、ファンヒーター、こたつなどの暖房関係が伸びたほか、タイヤ交換用品や洗浄液など冬の車用品に動きがあった。

## 10. 観光

上諏訪温泉	施設によって宿泊客数に格差が現れている。国内の団体旅行客は減少傾向で、前年比増加の施設は夫婦や少人数グループの獲得に注力している。
蓼科・白樺湖・車山等	端境期となり、団体客などは大幅に減少した。曜日の並びが良い年末年始の予約は良好な感触を持つ施設が多い。
下諏訪温泉	好調だった10月の反動で団体、個人とも客足が減少した。三角八丁イベントを取り込んだ施設は来場者が伸びた。
諏訪大社	上社・下社合わせた11月の参拝者数は約 55 千人。前年同期比では約 4 千人、6.9%の減少となった。

### ●企業からのコメント

- ・ 輸出主体の取引先企業は円安で追い風だが、外注先にまで利益が回ってこない。当面は耐えるしかないと思っている(金属加工業)。
- ・ これまでは「海外工場へ出張」という感じだったが、最近は「海外へ出稼ぎ」といった方がしっくりくる企業も多くなっている(専用機製造業)。
- ・ 為替益が収益を押し上げているが、取引先の海外生産の流れは止まらず、海外法人の比率が高まっている(輸送用機器製造業)。
- ・ 11月は閑散期だが、例年より落ち込みが緩やか。忘年会、新年会は例年より件数が多い(飲食店)。
- ・ 安値対策で価格競争が激化している。客足が鈍化し、消費増税での動向が心配(小売店)。
- ・ 駆け込み需要で金額、件数とも増加で推移しているが、現場代人、職人不足で入札を見合わせている。現在は良いが、増税後の反動減が心配(建設業)。